

誰もが安心して喜らせる地域づくりを進めます。

～平成23年9月議会で一般質問の予定～

四月十日に実施された奈良県議会議員選挙に初めて挑戦した乾浩之候補は、一一、二七二票の支持をいただきトップ当選を果たしました。予想を超える結果の背景には、今一つ発展力に乏しい北葛城郡の将来を乾候補の若さと行動力に賭けたい、との思いがあったからこそです。皆さんの大きな期待を背負い奈良県議会にデビューした乾議員が、誰もが安心して喜らせる地域の実現をめざし活動することを願っています。

住みよいまちづくりの推進

三月十一日に発生した東日本大震災は、かつて日本が経験したことのない悲惨な災害でした。その上、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染が各方面に広がりを見せ、復旧・復興にもたつく政府、与党への批判は、菅直人首相に内閣不信任を突き付ける事態にまで発展しました。

私たちは、被災地の一日も早い復興を願いつつ、未曾有の大災害から何を学ぶべきか、しっかりと議論しなければなりません。やはり、自然災害の予測に自ら限度を設けてはならず、これまでの防災体制を

見直し実際に震災が起こった場合、どのように対処するか日頃から住民の皆さんと話し合い訓練する必要があります。乾議員は、北葛城郡の防災体制を検証した上で、安全で安心して住むことができるシステムをつくります。



生活の痕跡が感じられない被災地。

元気な子どもたちの育成を

東日本大震災では多くの子どもたちも被災しました。亡くなった方々のご冥福を心からお祈りするとともに、子どもたちの姿に、復興への強い思いを感じます。しかし、

奈良県も含め全国的な傾向は地域のつながりが薄くなるとともに家庭での教育力も低下し、生活習慣が乱れ規範意識が薄れる中で不登校やいじめ、さらには暴力行為が頻発し大きな社会問題になっています。

奈良県における暴力行為は全国でもワースト二位という厳しい現実を前に、地域で子どもや高齢者が触れ合える環境を整えることが大切と考えています。乾議員は毎朝笑顔で登校する子どもたちを見守りながら、元気な子どもへの育成に力を注いでいます。



子ども達の登校を見守る。

地場産業を育て雇用の創出

北葛城郡は靴下やプラスチック産業が多い地域ですが、安価な海外製品の流入や経営者の高齢化による後継者不足で厳しい状況におかれています。一方、若い人の中には起業に意欲を燃やしている方々も多く、このような人達が既存企業の後継者になれるような仕組みづくりが必要です。

また、わが国の技術力や製品の品質は高く、海外の企業が簡単に真似が出来ないため家電で韓国メーカーが世界の市場を席巻していますが、中に使われている部品はほとんど日本製だと言われています。

それほどに日本の技術は世界をリードしているにもかかわらず、残念ながら、マーケティングでは、他国の後塵を拝している状態です。まず、すべきことはマーケティング力を高める体制をつくることと考える乾議員は、奈良県が平成二十三年度の方針として「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ための取り組みを進める上で「テーマとする「経済活性化」「くらしの向上」の政策課題に、マーケティングの重要性を加えるよう要望することにしています。

地域医療体制の充実を！

奈良県における救急患者受入状況は、七九・三％と全国平均の九三・二％をはるかに下回り最下位レベル（四十五位）になっており、人口十万人当たりの医師数も二〇七・一人（二十七位）と全国平均の二二二・九人を下回っている。さらに、県内に十一ある休日夜間応急診療所のうちすべての時間帯で小児科医が対応できるのは一診療所のみにとどまっているなど、まさに医療後進県と言っても過言ではありません。県民の安全・安心を守る上で医療体制

- 乾議員は、地域医療を重点施策と位置付け活動致します。 ※残念ながら北葛城郡に休日夜間応急診療所はありませんが、救急医療の知識や経験を持つ医師が常動している救急告示病院が二か所あります。
- 乾議員は、地域医療を重点施策と位置付け活動致します。 ※残念ながら北葛城郡に休日夜間応急診療所はありませんが、救急医療の知識や経験を持つ医師が常動している救急告示病院が二か所あります。
- 各病院の役割分担の明確化と医療連携体制の構築
- 医師看護師等の人材確保
- 休日夜間応急診療所の充実
- 医療情報の収集・分析・提供

馬見丘陵公園の有効活用を

観光資源が乏しいとされる北葛城郡にあって、馬見丘陵公園は有数の古墳地帯であり、平成二十二年には「第二十七回全国都市緑化ならフェア」が開催され、期間中に四十三万人が来訪する盛況ぶりでした。スポーツやレジャー施設も備え、県民憩いの場として利用されることも多く、今後はプロチームの試合ができる野球場やサッカー場を設置し、併せて北葛城郡の中心的観光スポットとして位置付け、新たな観光資源の開発を進める予定です。奈良県はポスト一三〇〇年祭として「巡る奈良」をテーマに周遊型観光の



●奈良友誼会病院(上牧町)



●恵王病院(王寺町)



馬見丘陵公園